



令和はどんな時代になるでしょうか

時計・ジュエリー・メガネ

# 杉岡時計店新聞

第 49 号 2019 年 5 月

時計・宝石・メガネ 杉岡時計店 〒569-0804 高槻市紺屋町 1-1 グリーンプラザたかつき 1 号館 1 階  
<http://www.sugioka-tokeiten.co.jp> TEL 072-685-0875 発行者: 杉岡 誠

## 遅めの花見

専務の杉岡誠です。4 月中旬奈良県吉野へ花見に行ってきました。大阪からは近くて遠いような微妙な距離。結構遠いのかなと思っていましたが、高速道路で葛城まで行きそこから大和高田バイパスを抜け、橿原市まで行くと吉野はすぐそこでした。意外と近いですね。吉野の桜は下千本は完全に散っておりまして、駐車場の誘導係の方に「今、桜を見るなら中千本か上千本」と言われたのでとりあえず中千本へ。ところが車を止めた場所が悪く、駐車場から中千本まで急な山道を 10 分少々歩きやっとな中千本へ到着。



平日でしたのでそれほど観光客も多くなく、ゆっくりと見て回れました。山が桜色に覆われていてとてもきれいな景色でした。国宝の金峯山蔵王堂にも立ち寄り、1592 年に再建されたという建築に歴史を感じました。今回は中千本を散策して帰りましたので、今度来るときは上千本、奥千本まで足を延ばしてみようと思います。吉野山を後にし、帰る途中「高松塚古墳」「キトラ古墳」の看板を見つけ、せっかく近くまで来たので寄ってみました。

た。テレビのニュースでは何度か見たことがあったのですが、いまいち高松塚古墳とキトラ古墳の違いや場所などがわかっておらず、まずは明日香村の観光案内所で観光地図をもらい、高松塚古墳とキトラ古墳と石舞台古墳の 3 つを見てみようと思い順番に廻ってきました。初めに石舞台古墳へ行き、石の大きさに驚きました。一体あの時代にどのようにしてこの石を組み上げたのか不思議なことだらけです。次に高松塚古墳へ行き古墳の横にある高松塚壁画館で内部の模型と壁画の現状模写を見てきました。最後にキトラ古墳へ。ここはキトラ古墳周辺地区として整備されており、しかも国営公園でした。古墳だけでなく周辺の自然環境や田園と合わせて整備されている公園です。キトラ古墳壁画体験館「四神の館」は他の施設よりも豪華で立派な展示施設でした。



施設内には玄武、白虎、青龍、朱雀の壁画を映像にして見れる展示や原寸大の石室の模型、石室の作り方を疑似体験できるパズルもあり歴史好きの方にはお勧めの施設ですよ。館内には実物の壁画も保存されているのですが、期間限定でしか公開していないようですので今回は見ることはできませんでした。残念！また行く機会があればもう少し歴史を勉強してから行くにより深く理解できるかもしれませんね。

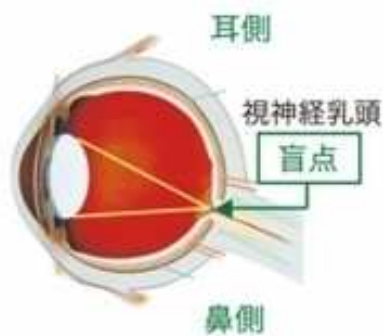
## 天然ダイヤモンドと合成ダイヤモンド

合成ダイヤモンドをご存知でしょうか？近年、わたくし共の業界紙や一般のテレビニュースなどでもじわじわと取り上げられるようになりました。天然ダイヤモンドと合成ダイヤモンドの違いを少しお話したいと思います。天然ダイヤモンドとはいわゆる地球の奥深く、高温と高圧力そして何百万年という時間をかけて作り上げられた、人間の手が加わらずに自然に出来上がった鉱物でそれを人間が地中深くまで掘削して出てきたものです。合成ダイヤモンドとは天然ダイヤモンドと同じ成分の物質を人工的に高温や高圧力、炭素分子の並び替えなどの加工をし、人の手によって作り出されたダイヤモンドのことです。文章で書くと簡単なことですが、ダイヤモンドを人の手によって作るということが、どれほど難しいことか。過去、世界中で研究されてきましたが、最近になってやっと宝石として価値のあるものに出来上がったようです。よく人工ダイヤモンドと言う呼び方もされていますが、それは「合成」より「人工」の方が一般的にわかりやすいのでそのように呼ぶ場合もありますが、宝石業界の正式名称としては「合成」になります。合成ダイヤモンドの使用用途としては、今までは工業用としてドリルやカッターの刃として使用していました。宝石用として使用できるほどの品質には至らなかったようですが、最近は百貨店などでも合成ダイヤモンド専門店が出来るほど、宝石としての価値が認められるようになってきております。価格は天然ダイヤモンドより安い価格で提供できるようですが、希少性という点では天然には到底及びません。当店ではまだ販売までは考えておりませんが、合成ダイヤモンド3点入荷しておりますので店頭で見ただけのご用意しております。ぜひ天然ダイヤモンドと見比べてみてください。近い将来合成ダイヤモンドがどこの宝石店でも当たり前のように取り扱う日が来るかもしれませんね。



## マリ奥特盲点

うっかりして人が何かを見落としてしまう点を表現するとき、「盲点」という言葉を使います。実は、人の目には「盲点」があり、そこではものが見えないことから派生した言葉なのです。なぜ盲点ではものが見えないのでしょうか。盲点は「視神経乳頭（しんけいにゅうとう）」にあります。視神経乳頭は視神経が集まって、束になっているところです。また、眼球から血管や視神経が入り出しているところです。視神経乳頭には光を感じる細胞（視細胞）がないので、この部分に集まった光は、信号として脳まで届きません。だから、脳では「見えない」と判断されるのです。それぞれの目の盲点は微妙にずれた場所に存在しているため、通常盲点が日常生活に支障をきたすことはありません。片目だけで見たとしても、脳が全体像を認識させようとするために、一部分だけ真っ黒になることはありません。名称はフランスの物理学者エドム・マリ奥特により発見されたため、マリ奥特盲点と言います。



## 平成から令和へ

平成も終わり令和へ。新しい時代の幕開けですね。それにしてもゴールデンウィークが長いです。皆さん本当にこの長い連休うれしいのでしょうか(笑)?海外旅行へ行かれる方にはうれしい連休ですね。当店は通常通り営業しておりますので、電池交換やメガネのレンズ交換などございましたらご用意ください。新しい年号とともに腕時計もメガネも新しくしてみたいはいかがでしょうか。4/26~5/6までゴールデンウィークスペシャルセールを開催いたします。時計、メガネ、ジュエリーそれぞれにお買い得商品をご用意しておりますので、ぜひともご来店いただきますようお願いいたします。